

れいはいはさいこうのしゅくぶ



わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう



へんかを むかえた ヨセフ

-こたえを あたえることが できます



いのり

しかいしゃ

しとしんじょう

みんなで

さんび

さんびか 442 ばん (かいぬしわがしゅよ) あのね、きいて (2019 ねんこどもさんび)



せいしよ

そうせいき 40:20~22

創世記40:20~22 三日目はパロの誕生日であった。それで彼は、自分のすべての家臣たちのために祝宴を張り、献酌官長と調理官長とをその家臣たちの中に呼び出した。そうして、献酌官長をその献酌の役に戻したので、彼はその杯をパロの手にささげた。しかしパロは、ヨセフが解き明かしたように、調理官長を木につるした。

みことば

へんかを むかえた ヨセフ



-こたえを あたえることが できます

しかいしゃ

ポティファルの妻がヨセフを誘惑しました。ヨセフは、断ったので、濡れ衣を着せられて監獄に行くようになりました。しかし、そこでも神様はヨセフとともにおられました。監獄には王に仕える家臣たちがいました。ヨセフは、家臣たちとともに過ごして、エジプトの政治を学びました。神様は、ヨセフが家臣たちの見た夢を解き明かすことができるようにしてくださいました。その中のひとは身分を回復して王宮に戻っていきました。ところが、彼は自分の夢を解き明かしてくれたヨセフのことを、すっかり忘れてしまったのです。

神様がくださる私の絶対契約はなんでしょうか。イエス・キリストと世界福音化が私の絶対契約と夢ならば、ヨセフのように行くすべてのところで、人々に唯一の答えを伝えるようになります。



いのり

いっしょに おおきなこえで
いのりましょう

ちちなる かみさま、ありがとうございます！ いく すべてのところで ひとびとに ゆいいつのこたえである イエス・キリストの しょうにんとして たつことが できますように。いきておられる イエス・キリストの おなまえによって おいのりします。アーメン

しゅのいのり

いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう



フォーラム

きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう



まいにち
✓ チェックしよう

げつよう



かよう



すいよう



もくよう



きんよう



どうよう



133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。



あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

ふたりは かれに こたえた。

「わたしたちは ゆめを みたが、

それを ときあかす ひとが いない。」

ヨセフは かれらに いった。

「それを ときあかす ことは、

かみの なさることでは ありませんか。

さあ、それを わたしに

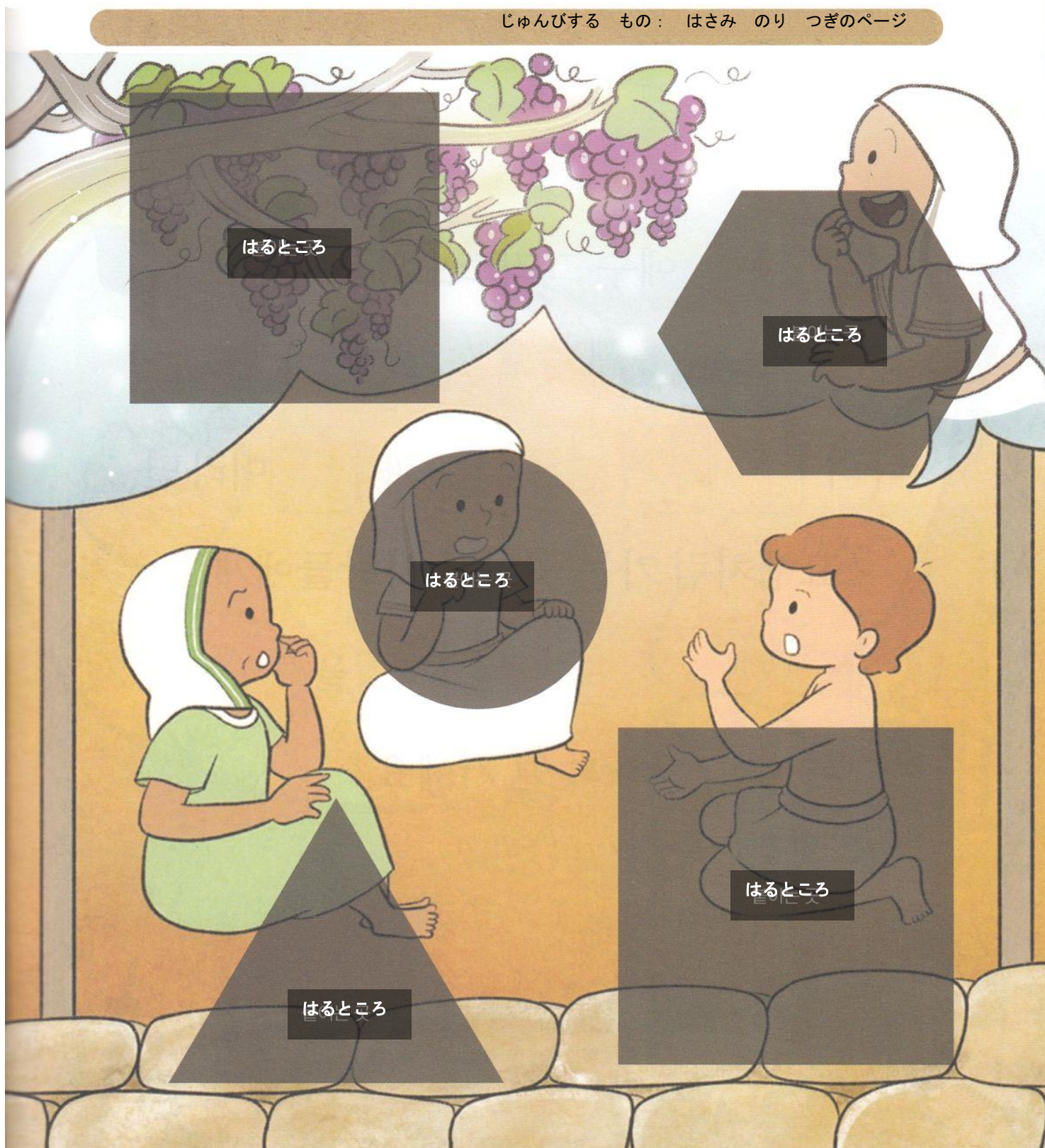
はなして ください。」

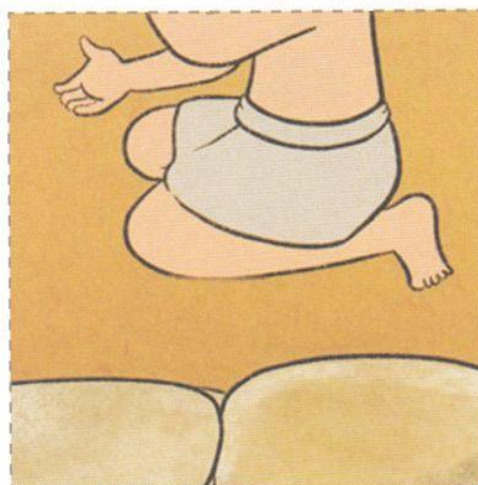
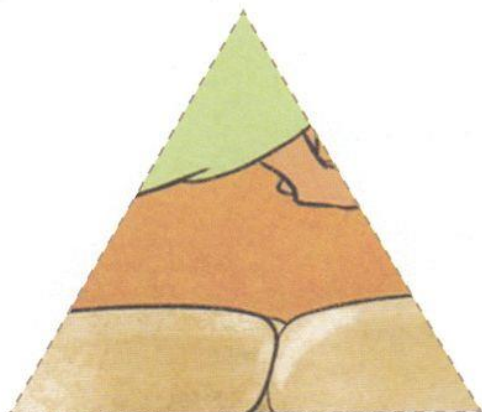
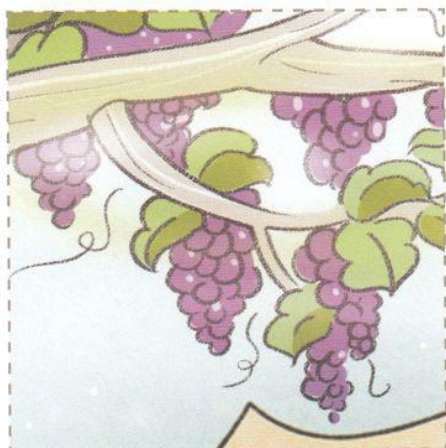
そうせいき 40 しょう 8 せつの みことば



ヨセフは めれぎぬを きせられて かんごくに はいりました。
 しかし これも すべて かみさまの けいかくでした。
 したの えに あう えを つぎの ページから みつけて
 きりにとって はりましょう。

じゅんぴする もの： はさみ のり つぎのページ





きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。
したの ないようを よんで じゅうような たんごを
なぞって かきましょう。



イエス・キリストと

が

わたしの

と

ならば、

ヨセフのように いく すべての ところで、

ひとびとに

を

つたえるように なります。

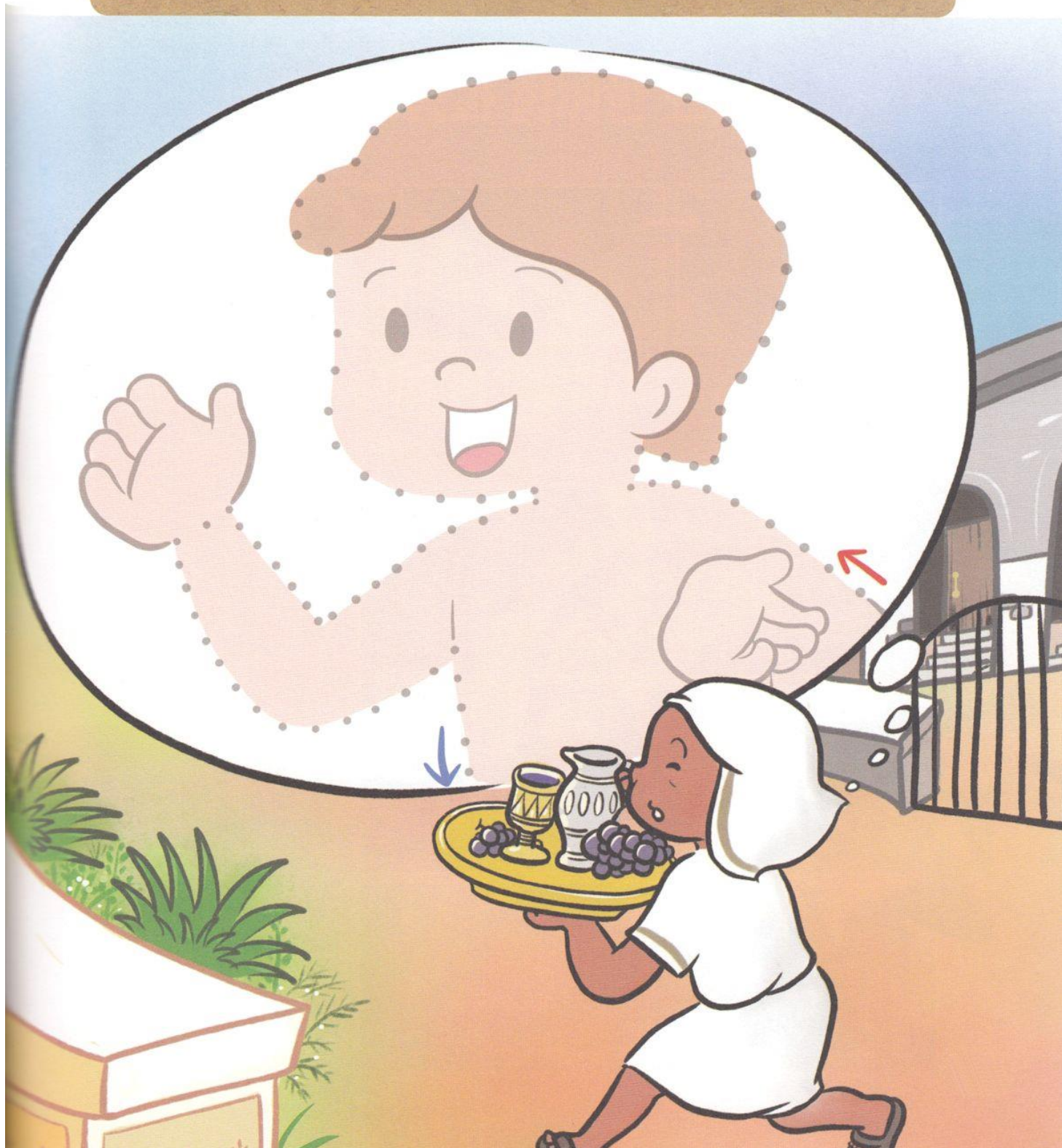
せかいふくいなか ぜったいけいやく ゆめ ゆいいつの こたえ



かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう



おうさまに おさけを だす たんとうだった かしんは ヨセフが ゆめを
ときあかした とおりに また パロおうに おさけを だす ひととして
もどりました。 ヨセフは そのひとに じぶんの ことを パロおうに
しらせてくださいと おねがいしました。 しかし そのひとは ヨセフの
ことを すっかり わすれて しまいました。 したの えの てんせんを
つないで えを かんせいさせましょう。





パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

いのれば かみさまは かならず こたえてくださいます。
わたしたちは かみさまに どのように いのって こたえを うけて
いるのでしょうか。 パパとママと いっしょに はなしを して
えか じで ひょうげんしましょう。



たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
ここに きざみましょう



どうび

ヨセフは ポティファルの いえでも かんごくでも かみさまが
ともに いてくださると おもっていました。
ともだちと いっしょに にんぎょうげきを して あそびましょう。

じゅんびするもの | はさみ、のり、テープ、わりばし、つぎからの3ページ

かみさまと ともに いた ヨセフ



つぎの ページの はいけいの えを きりぬいて のりで はりましょう。
そのつぎの2ページの にんぎょうの えを きりぬいて わりばしに テープで はりましょう。
やくわりを きめたあと にんぎょうげきの あそびを しましょう。

#1

ヨセフは ぬれぎぬを きせられて
かんごくに いれられました。
そのことによって
おさけの たんとつと
りょうりの たんとつと
パロおうの かしんに であいました



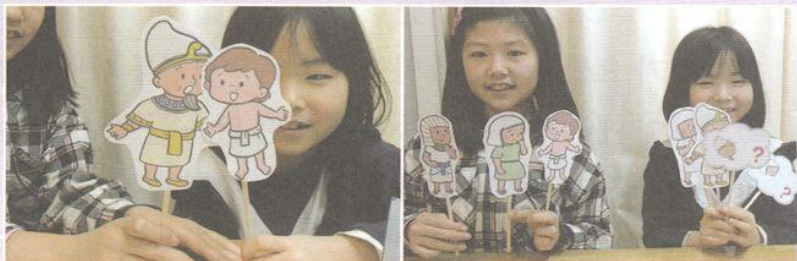
#2

ふたりに かしんの ゆめを
ときあかして あげました。
だれも パロおうの ゆめを
ときあかすことが できませんでした



#3

ヨセフは かみさまが くださる ちえで
パロおうの ゆめを
ときあかしました。
ヨセフのように かみさまの れいの
やどる レムナントに
なりましょう。



のりをつけるところ

